

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	炭素線ペンシルビーム高速スキャンニング照射法による臨床的照射精度の解析評価、および部位別治療効果の評価
	研究目的	神奈川県立がんセンターの炭素線治療では、炭素線ペンシルビーム高速スキャンニング法と呼ばれる世界最新のビーム制御技術を用いており、従来の国内外の炭素線治療施設よりも高精度な照射が可能で、さらに各治療室に in-room CT を備え、他施設では取得が難しい治療期間中の CT 画像をルーチ的に取得し、CT データに基づいた臨床的検証を行いながら治療を進めてきました。本研究では、従来法との比較で、本手法の物理工学的な特性に基づく臨床的照射精度を解析評価すると共に、治療効果を部位別に評価します。
	研究対象者	当施設でこれまでに重粒子線治療をおこなった患者、および本研究期間中に重粒子線治療をおこなう患者。
	研究期間	西暦 2019 年 11 月 20 日 ~ 西暦 2022 年 9 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(治療の過程で取得した CT・X 線画像データ、および治療計画データ) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター研究責任者	物理工学科・科長・蓑原伸一
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	放射線治療科、物理工学科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし